

いま語り 問う 人間の祈りとは 人間の暮しとは そして、ふるさととは……

みちのくの霊峰

早池峰山麓に生きる人びとを

詩情豊かに描く心あたたまる秀作!

羽田澄子演出作品

早池峰の賦

は や ち ね ふ



羽田澄子演出作品

「早池峰の賦」



製作 工藤充 / 演出 羽田澄子 / 撮影 西尾清・瀬川順一 / 録音 久保田幸雄
音楽監督 秋山邦晴 / 作曲 肥後一郎 / ナレーター 大方ひさ子 / 協力 若手県大迫町

映画「早池峰の賦」について 羽田澄子

例えば1964年(昭和39年)の秋、新聞の紹介記事に惹かれて、大償神楽を見に行ったことが、「早池峰の賦」を生み出すきっかけであった。私は何の予備知識もない観客の一人だったが、注連縄でかこい、後ろに一枚の幕を張っただけの小さい舞台がまず魅力的だった。太鼓と手びら鉦、笛が聞こえだすと心が浮き立った。さつと幕をはねて舞手が登場する鮮やかさにも目を奪われた。つづいて如何にも山伏が舞ったであろう颯爽と躍動的でしかも祈りが込められた舞に、私は「日本にもこんな芸能があったのか」とただ驚くばかりだった。

翌年の2月。私は後に早池峰山の撮影をお願いした瀬川順一・カメランと大迫を訪れた。大迫は一面の雪に埋もれ、茅葺の大きな屋根も真白に雪をかぶっていた。宿をお願いした大償神社の別当のお宅に、日暮れとともに神楽の人々が集まってきた。そしてたった一人の観客のために、神楽は正式な順を追ってはじめられたのである。私は適当なものを1、2曲見せてもらえばという程度の考えだった。しかし神楽はまず神に捧げるものである。神に捧げる形をくずして、適当になどとは考えもしない人々々の前で、私はすっかり恐縮して座っていた。

翌日は門打ちに歩く神楽の人たちについて歩いた。雪の中を権現さまを荷ない、太鼓をかつぎ、笛を吹きながら、曲屋から曲屋へと神楽衆は歩いた。曲屋の土間は暗かった。その土間に太鼓が響き、権現舞が始まると家の人々が手を合わせて蹲った。その人々の前に権現様は高く、かかげられ、歯をかみならし、金色の目を輝かした。土間にはこの世のものとは思えぬ時間、空間が現出した。権現さまと早池峰山と人間

との間に、魂の交流する場が現れたのである。私はいつの日にかこの神楽を映画にしたいと思ったが、実際に映画の製作に入れたのはそれから1、2年も後のことであった。神楽がどうなっているかが不安だったが、若手が加わって健在だった。しかし村落のたたずまいに昔の面影は無かった。舗装された道路、赤や青のトタン屋根、テレビや自動車の普及、それらは神楽を支えてきた精神風土を徐々にくずそうとしていた。やむを得ない時代の変化である。製作に入って真つ先に手をつけたのは、曲屋の取り壊しの撮影である。「南部の曲屋」といわれた著名な民家は、年々取り壊されて、もう殆ど見られない。また映画に登場する南部葉の栽培も、2年後には無くなった。危ういところで映画は「ふるさとの姿をとどめたのである。この映画はたんに神楽を見せるものではない。人間が生きているとどういうことか、日本人とはどういう人間かを考えることを目指した作品である。



早池峰神楽

若手県、北上山脈の主峰「早池峰山」は古くから人々の信仰を集めた山で、中世から近世にかけては、修験者たちの修行場となっていた歴史がある。この修験者によって伝えられたという山伏神楽が早池峰山麓、大迫町の2つの部落、岳と大償に伝承されていて、早池峰神楽と呼ばれ、国の重要無形民俗文化財に指定されている。



記録映画作家 羽田澄子 (はねだすみこ)

1926年旧満洲大連生まれ。自由学園女子部高等科卒業。岩波映画製作所に入社して記録映画の演出に携わる。現在はフリーとなり、話題作を次々に発表。代表作に「薄墨の桜」(77年)「早池峰の賦」(82年・芸術選奨文部大臣賞 他)「AKIKO—あるダンサーの肖像—」(85年・文化庁芸術作品賞受賞)「痴呆性老人の世界」(86年・毎日映画コンクール賞 他)、「安心して老いるために」(90年)、「歌舞伎役者 片岡仁左衛門」(87~93・キネマ旬報ベストテン1位)、「一元始、女性は太陽であった—平塚らいてうの生涯」(01年・日本映画ペンクラブ賞ノン・シアトリカル部門第1位)など。



10/25(土)より心のふるさとの1週間限定モーニングショー

神々のふるさと 出雲神楽 (2002年/日本/41分/財) ボーラ伝統文化振興財団提供作品

10/25(土)~10/31(金) 10:00 <当日> 一般1,200円/大学生1,100円/高以下・シニア1,000円

10/11(土)~10/24(金)・11/1(土)~11/7(金) 連日 11:30

当日:一般1,000円 大学生900円 高以下・シニア800円

◆ 共通前売2プロ券1,800円 … 「神々のふるさと 出雲神楽」もご覧いただけるお得な前売券です・劇場窓口およびチケットぴあにて発売

若手県立文化センター

〒960-0001 若手県立文化センター

TEL 06-6302-2073

http://www.nanagel.com/